

解説

高等学校 保健体育科

授業者：附属高等学校教諭 丸山実花

「真剣白刃取り 一間合いを楽しむ出会いのダンス」

解説タイトル：頭と体を動かして育成する「他者理解力」

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授

下島泰子

「真剣白刃取り」とは本来、身を守る刀などを持っていないときに、相手が振り下ろす刀を素手で受け止め、衝撃を制する防御法として知られている。本実践はダンスの授業のウォーミングアップとして「真剣白刃取り」を取り入れたものである。最初に友達と向かい合って拍を刻んだ後、目と目で合図をして、刀を振り下ろす「切込み」と刀を受ける「受け手」に分かれるリズムカルな曲で行う出会いのダンスである。

言葉を交わさずに相手のリズムと合わせる必要があるため、日頃のクラスメートの性格を理解し、その友人と息を合わせて一緒に動くという「他者理解力」や「協働力」の育成が見込まれる。人数が半端になったときにはとっさに3人で組んだり、架空の人と踊ったりしなければならず「創造的思考力」も育成可能である。頭だけでなく体を動かしながらコンピテンシーを育成する実践例である。